

先日、真新しいランドセルを背負い、ウキウキしながら外を歩いている男の子の姿を目にしました。きっと小学生になることが待ち遠しくて仕方がないのでしょう。とても微笑ましい光景だと思い、私も何だかウキウキさせられました。

ところが、「平成 27 年に発生した歩行中の交通事故による死傷者数は 7 歳児が際立って多い」という事実には、私は衝撃を受けました。7 歳児の歩行中の事故の特徴をまとめると以下ようになります。

- 73%が日中に発生し、日没前後と合わせると 93%となっている。
- 平日の死傷者数は、土曜日の約 2 倍、日曜日の約 2.5 倍の値となっている。
- 6 歳から登下校中の事故が増加するが、遊戯中など登下校以外の通行目的でも 7 歳児が最も多い。
- 男児の死傷者数は女児の 2 倍で、男児の方が危険な行動をとる傾向があると推定される。
（「イタルダ インフォメーション 交通事故分析レポート No. 116」公益財団法人 交通事故総合分析センター 平成 28 年 6 月発行）

ランドセルを背負ってウキウキしている新 1 年生が、交通事故に遭うと思うと、本当に胸が締め付けられる思いがします。

岩手県警察本部では、子どもを交通事故から守ることとして、以下のことを挙げています。

◇ 子どもの特性を知りましょう。

→言葉だけでは、理解できない場合があります。夢中になると周りのものが目に入らなくなります。

◇ 交通安全指導のポイント

→子どもは一度では覚えきれない場合が多くあります。あれもこれもと欲張らず、分かりやすい言葉で的を絞り、繰り返して教えましょう。

そこで、お子さんにこんな提案をしてみてもはいかがでしょうか。

「お母さん（お父さん）と一緒に学校まで歩いてみようか！」

きっと、お子さんは喜ぶはずですよ。お子さんを楽しく誘い出し、一緒に通学路を歩く練習をすることをお勧めします。

その際、お子さんの歩くペースに合わせて時間を計ってみたり、お子さんの目線で危険な箇所をチェックしたりしてみましょう。登校時は高学年と一緒に、下校時は一人で帰らないといけないことも想定するとよいでしょう。また、お子さんと手をつないで歩くと、

つないだ手にギュッと力が入ったり、すっと振り払っていこうとしたりするので、お子さんが何に気をとられやすいのかがわかります。

ちなみに、県内の平成 27 年度の登下校中における児童生徒の死亡事故は、発生していないとのことですが、事故件数は幼児および小中学生は 151 件でした。うちの子に限って…としたいところですが、事故は 0 ではないのが現実です。

いかがでしたか？

お子さんがランドセルを背負ってウキウキし始めた時がご家庭での指導のチャンスですね！ぜひ、通学路をお子さんと一緒に歩いてみてください。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝えいただく。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

[URL:http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/](http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/) 「まなびネットいわて」で検索